

中小企業景況調査報告書

(第 118回)

平成22年 4 ~ 6 月期 実 績
平成22年 7 ~ 9 月期 見通し

平成22年 7 月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成22年6月
- (2) 調査対象期間 平成22年4～6月期実績及び平成22年7～9月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	44	58	42	67	61	272
中規模	18	12	23	13	26	92
合計	62	70	65	80	87	364
構成比(%)	17.0	19.2	17.9	22.0	23.9	100.0

(2) 業界動向調査

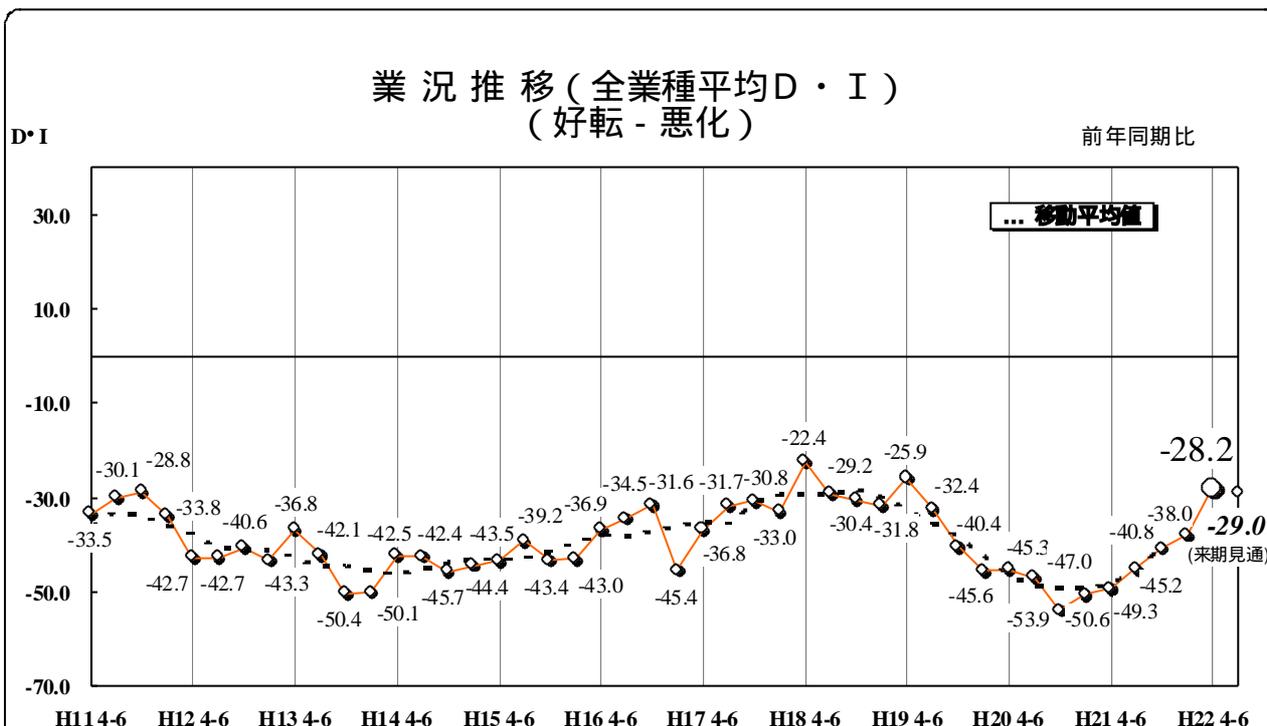
- ・業界動向ヒアリング先 製造業 19社、建設業 23社、卸売業 15社、
小売業 19社、サービス業 14社、合計 90社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

- 業況D・I値はマイナス幅を縮小も建設業は依然厳しい状況 -



今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期(4月～6月期)の全業種平均D・I値(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、前年同期比(平成21年4月～6月期の水準と比較した今期の業況)では 28.2、前期比(平成22年1月～3月期の水準と比較した今期の業況)では 21.7となっており、前年同期比、前期比ともにマイナス幅が縮小した。

前回の調査(平成22年1月～3月期)時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前年同期比では前回 38.0 今回 28.2と9.8ポイントマイナス幅が縮小し、前期比では前回 45.9 今回 21.7と24.2ポイントとマイナスが大幅に縮小した。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 38.1 今回 19.3)、建設(前回 37.5 今回 40.1)、卸売(前回 20.3 今回 20.0)、小売(前回 42.2 今回 35.0)、サービス(前回 51.8 今回 26.4)と、建設業ではマイナス幅が拡大した。業界組合・企業からのコメントでは総じて依然業況の悪化を訴える声が多く、企業間での景況感にばらつきが見られる。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比(平成21年7月～9月期の水準と比較した来期の見通し)では、 29.0とほぼ横ばいの見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」(製造業38.6%、建設業50.2%、卸売業57.6%、小売業34.7%、サービス業36.1%)が大きな要因となっている他、製造業では「製品加工単価の低下・上昇難」(14.8%)、建設業では「請負単価の低下・上昇難」(27.3%)、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」(8.8%)、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」(14.7%)、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」(11.5%)・「大企業進出による競争の激化」(11.5%)などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で13.6%と、前回調査時(8.8%)より4.8%上昇した。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値(前年同期比) 19.3(来期見通し 31.6)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成22年1月~3月期)時点からの推移では、前回 38.1 今回 19.3と18.8ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞に加えて原材料価格の上昇や製品加工単価の低下上昇難等を業況の悪化を訴える声が目立った。

〔主なコメント〕

- ・地域経済の悪化や天候不順の影響、原材料価格の上昇といった不安材料が多く、先行きは不透明である。(製造業)
- ・低価格の輸入品が増加傾向にあり、売上の減少が止まらない。(家具製造業)
- ・中国からの観光客増による消費で水産加工品の売上が増加したが、原材料価格が上昇により、業況は変わらない。(水産加工品製造業)
- ・デフレの影響により値下げを求められているものの、単価を下げるのも限界にきている。

(水産加工品製造業)

【建設業】 [業況D・I値(前年同期比) 40.1(来期見通し 33.8)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成22年1月~3月期)時点からの推移では、前回 37.5 今回 40.1と2.6ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、公共工事予算の縮減による受注の減少や、販売単価の低下・上昇難による採算の悪化の声があった。

〔主なコメント〕

- ・公共工事の減少により、受注が大幅に減少し非常に厳しい状況。(土木工事)
- ・工事発注量が激減している上に、発注単価も減少している。(一般住宅内装工事)
- ・安定した工事を継続的に確保できない。従業員を待機させているだけで人件費がかさみ、雇用形態の変更を検討している。(土木工事)
- ・同業者との競争が激しく、見積もり合わせも赤字覚悟になり大変苦慮している。(建設業)
- ・市内人口の減少により、個人住宅の受注が低迷している。(建設業)

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 20.0（来期見通 23.5）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成22年1月～3月期）時点からの推移では、前回 20.3 今回 20.0と0.3ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、販売単価の低下・上昇難や代金回収の悪化等による業況の悪化を訴える声が多かった。

〔主なコメント〕

- ・商品仕入単価の高騰に対し、販売価格は低下しており利幅が少ない。（卸売業）
- ・量販店やホームセンターにおいて、安い外国製製品との価格競争が激しい。（自転車卸売業）
- ・底を打った感はあるが、売上・利益ともに力強さはない。天候等の影響を受け悪化する懸念もある。（青果卸売業）
- ・取引先の支払い期間が長期化しており、運転資金調達に苦慮している。（作業機械卸売業）

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 35.0（来期見通 25.7）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成22年1月～3月期）時点からの推移では、前回 42.2 今回 35.0と7.2ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、大・中型店との競争の激化や、個人消費の低迷などによる売上の減少を訴える声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・消費者の購買力は低下しており、売上は減少している。先行きも不透明である。（商店街）
- ・住民の高齢化により町中の過疎化が進み、顧客が減少している。（小売業）
- ・不景気により、少しでも価格が安い大型スーパーに顧客が流れている。（小売業）
- ・ショッピングセンターやモール、ネット販売等による消費動向の変化・多様性により、小売専門店の存在が希薄になっている。（小売業）

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 26.4（来期見通 30.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成22年1月～3月期）時点からの推移では、前回 51.8 今回 26.4と25.4ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞、消費者ニーズの多様化、大企業との競争の激化による売上の低下、採算・業況悪化を訴える声があった。

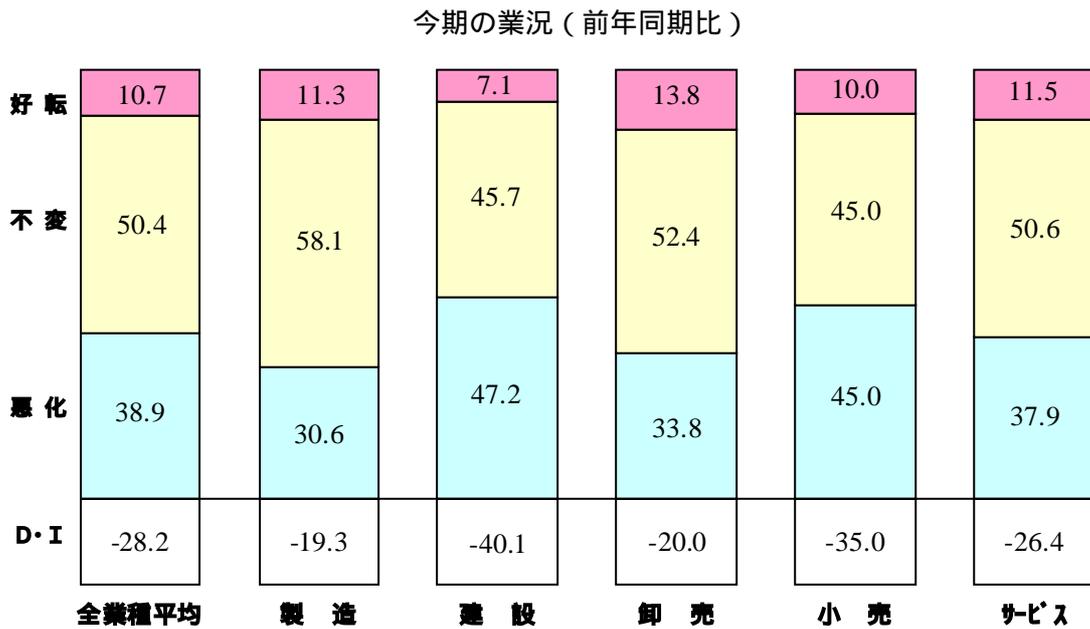
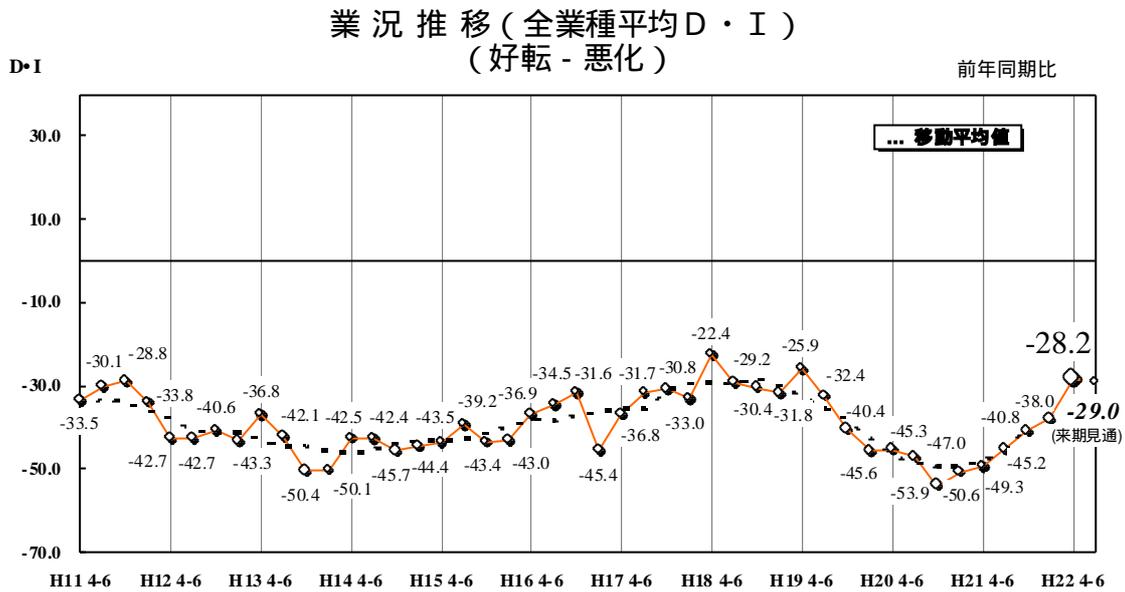
〔主なコメント〕

- ・消費者の節約意識と天候不順により利用が減っている。（クリーニング協会）
- ・来店サイクルが長期化し、付帯サービスの需要も減少する等、客単価が低下しており業況は厳しい。（美容）
- ・公共投資の減少により、建設関連物資の動きが悪く、売上高の減少に伴って経常利益も悪化している。（運輸業）
- ・不況の影響により消費者の財布の紐は固く、売上を大幅に落としているが、改善策が見いだせない。（飲食店）

1. 今期の業況

(1) 今期の業況

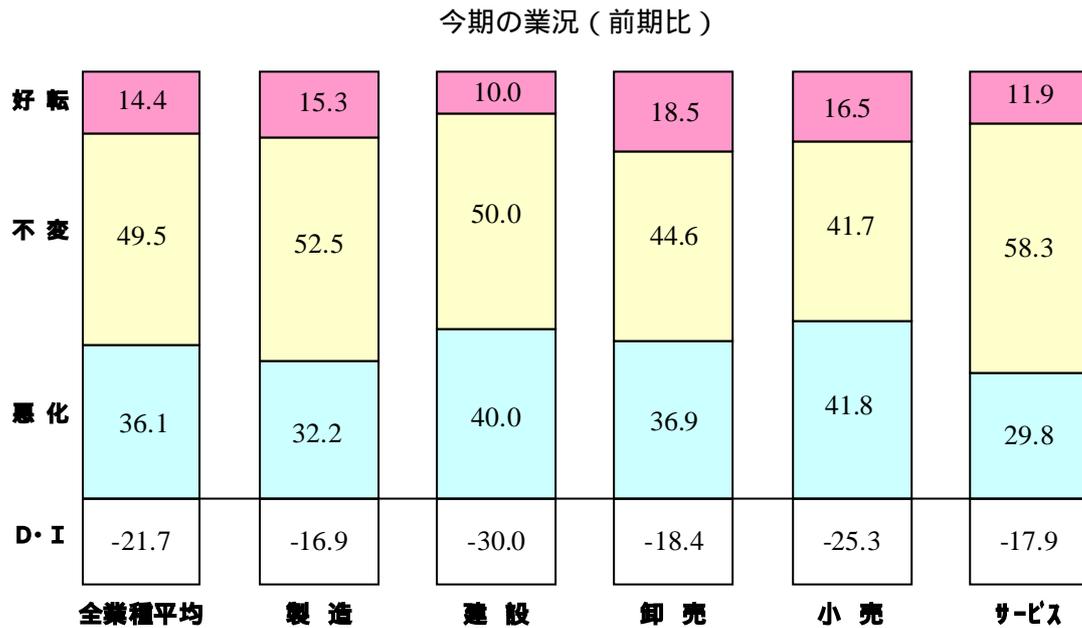
【前年同期比】（平成21年 4～6月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **28.2**〔前回調査時（平成22年1～3月期 38.0）より9.8ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.1 19.3〕、建設〔前回 37.5 40.1〕
卸売〔前回 20.3 20.0〕、小売〔前回 42.2 35.0〕
サービス〔前回 51.8 26.4〕

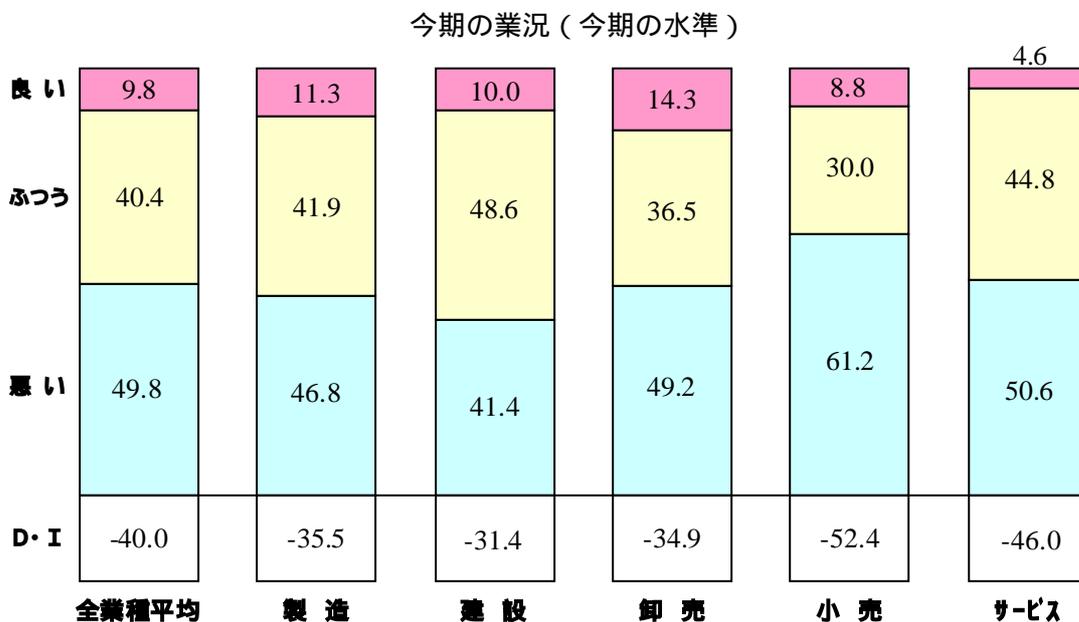
【前期比】（平成22年 1 ～ 3 月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **21.7**〔前回調査時（平成22年1～3月期 45.9）より24.2ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 48.4 16.9〕、建設〔前回 42.3 30.0〕
 卸売〔前回 38.1 18.4〕、小売〔前回 48.8 25.3〕
 サービス〔前回 51.8 17.9〕

【今期の水準】

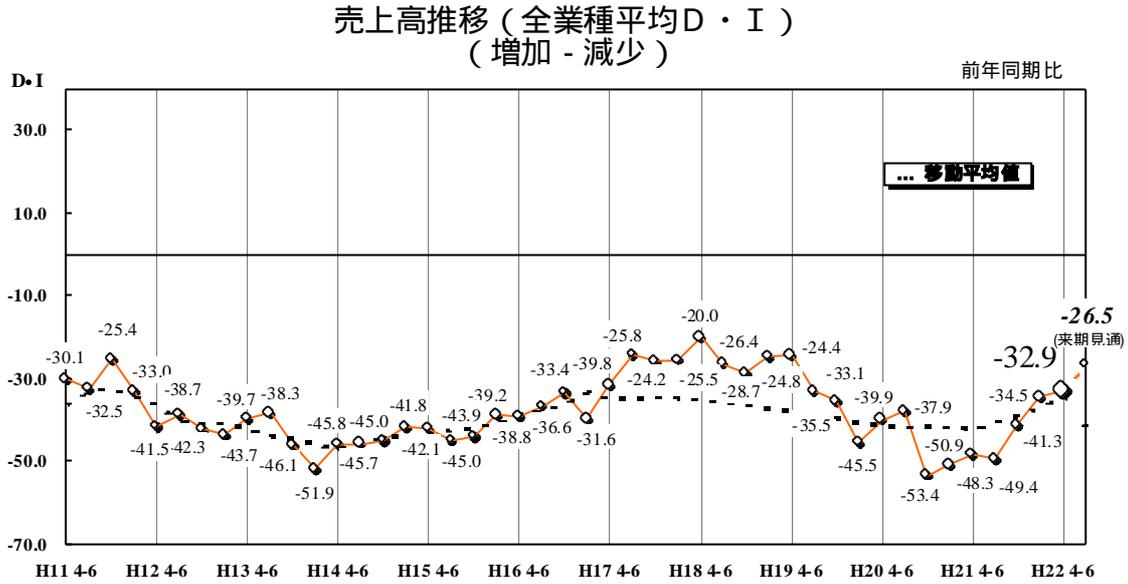


全業種平均でD・I値 **40.0**〔前回調査時（平成22年1～3月期 47.5）より7.5ポイントマイナス幅が縮小〕。

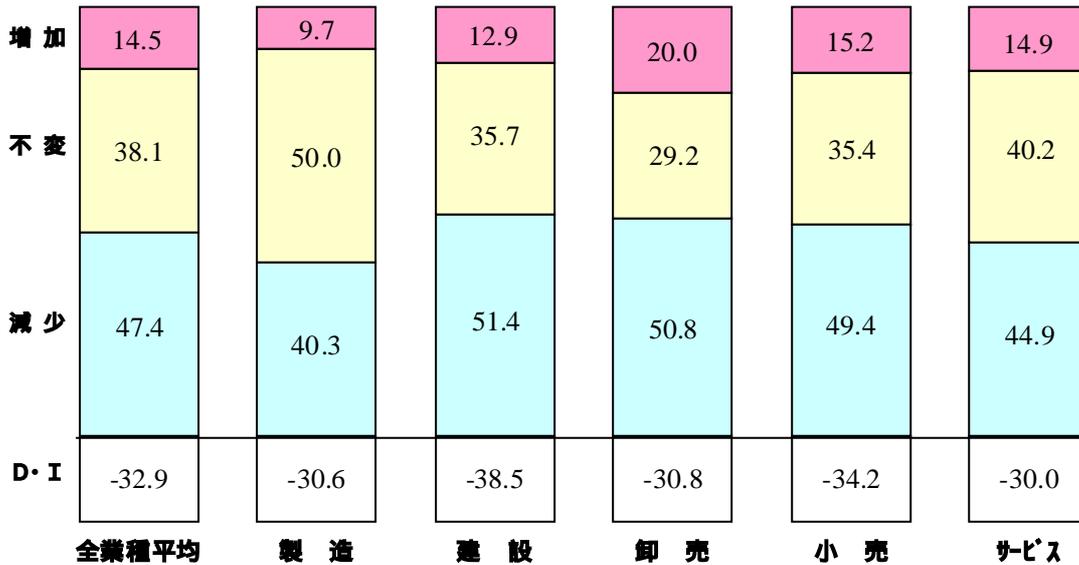
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 43.5 35.5〕、建設〔前回 52.7 31.4〕
 卸売〔前回 34.3 34.9〕、小売〔前回 56.7 52.4〕
 サービス〔前回 50.6 46.0〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成21年 4～6月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高（前年同期比）



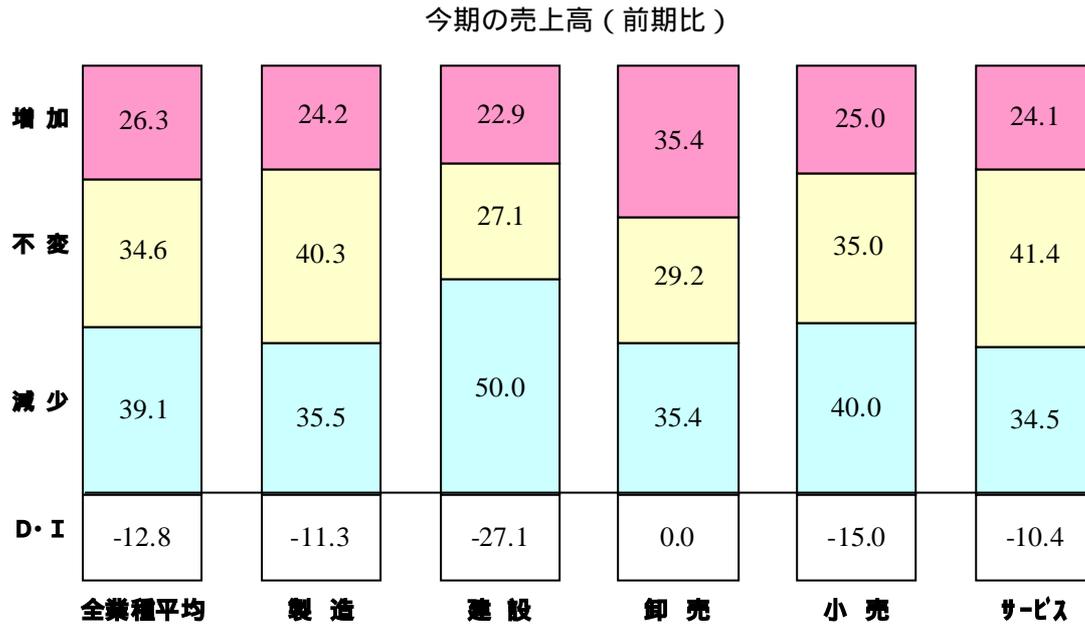
全業種平均でD・I値 **32.9**〔前回調査時（ 34.5）より1.6ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 26.9 30.6〕、建設〔前回 33.8 38.5〕

卸売〔前回 23.5 30.8〕、小売〔前回 42.9 34.2〕

サービス〔前回 45.5 30.0〕

【前期比】（平成22年 1～3月期の水準と比較した今期の売上高）

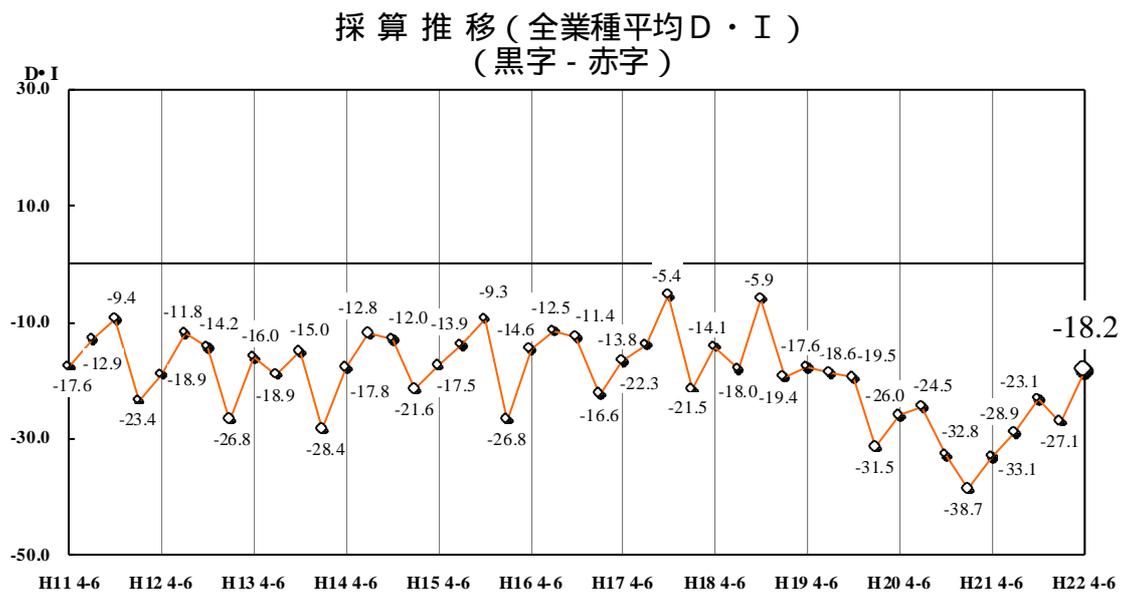


全業種平均でD・I値 **12.8**〔前回調査時（平成22年1～3月期 50.0）より37.2ポイントマイナス幅が縮小〕。

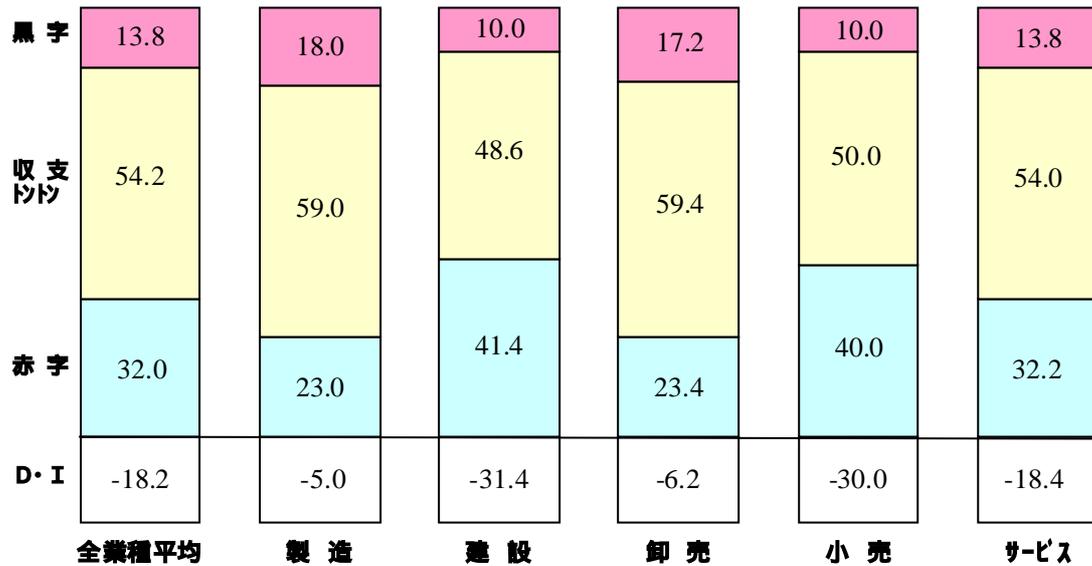
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 55.5 11.3〕、建設〔前回 47.1 27.1〕
 卸売〔前回 46.8 0.0〕、小売〔前回 54.8 15.0〕
 サービス〔前回 45.5 10.4〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】



今期の採算（今期の水準）

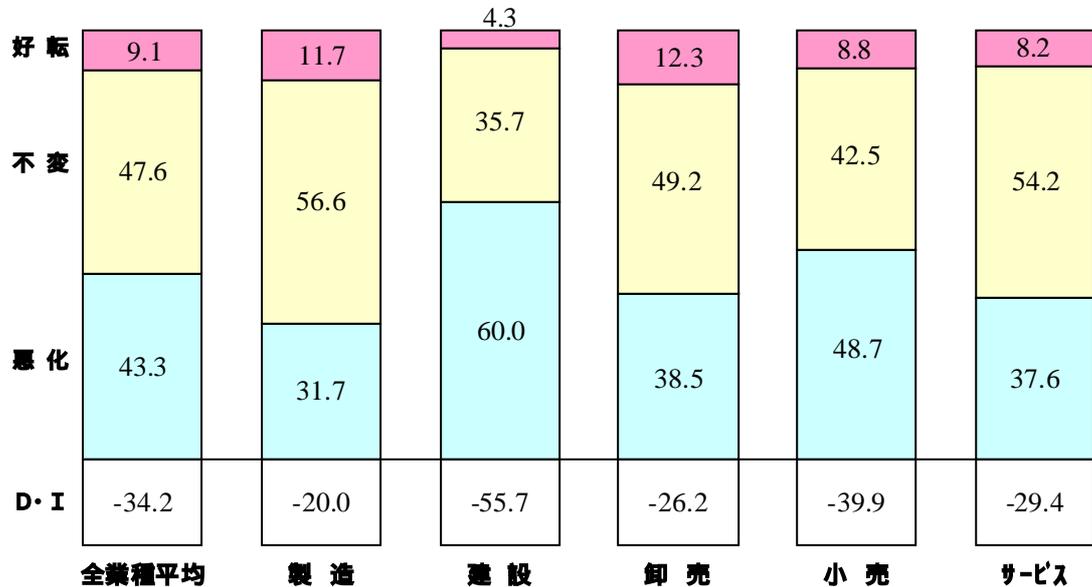


全業種平均でD・I値 **18.2**〔前回調査時（平成22年1～3月期 27.1）より8.9ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 29.5 5.0〕、建設〔前回 26.4 31.4〕
卸売〔前回 14.0 6.2〕、小売〔前回 35.4 30.0〕
サービス〔前回 30.3 18.4〕

【前年同期比】（平成21年4～6月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）



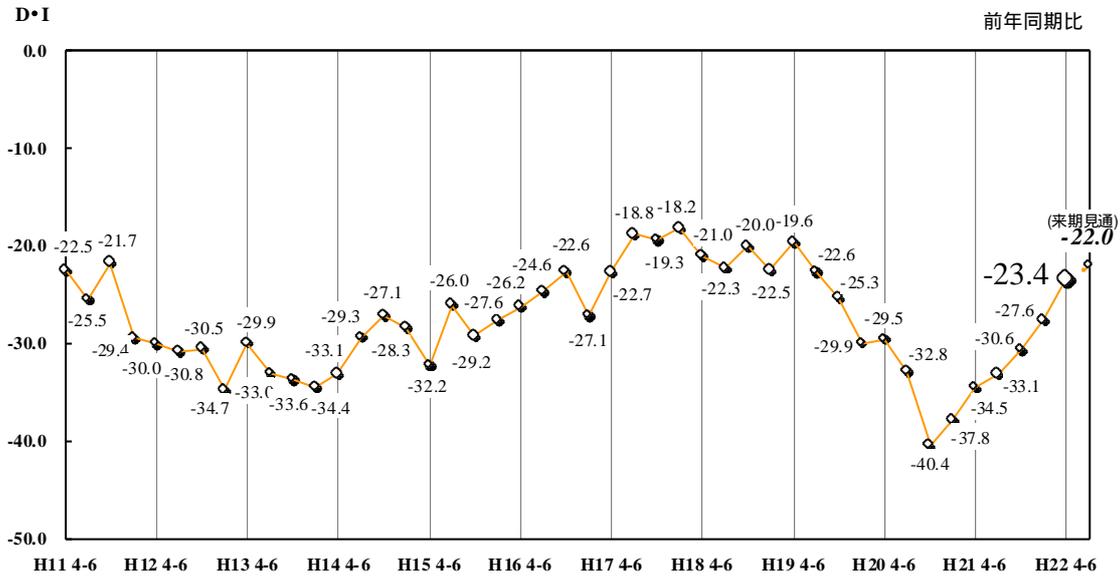
全業種平均でD・I値 **34.2**〔前回調査時（平成22年1～3月期 39.6）より5.4ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 40.3 20.0〕、建設〔前回 51.4 55.7〕
卸売〔前回 18.7 26.2〕、小売〔前回 48.2 39.9〕
サービス〔前回 39.4 29.4〕

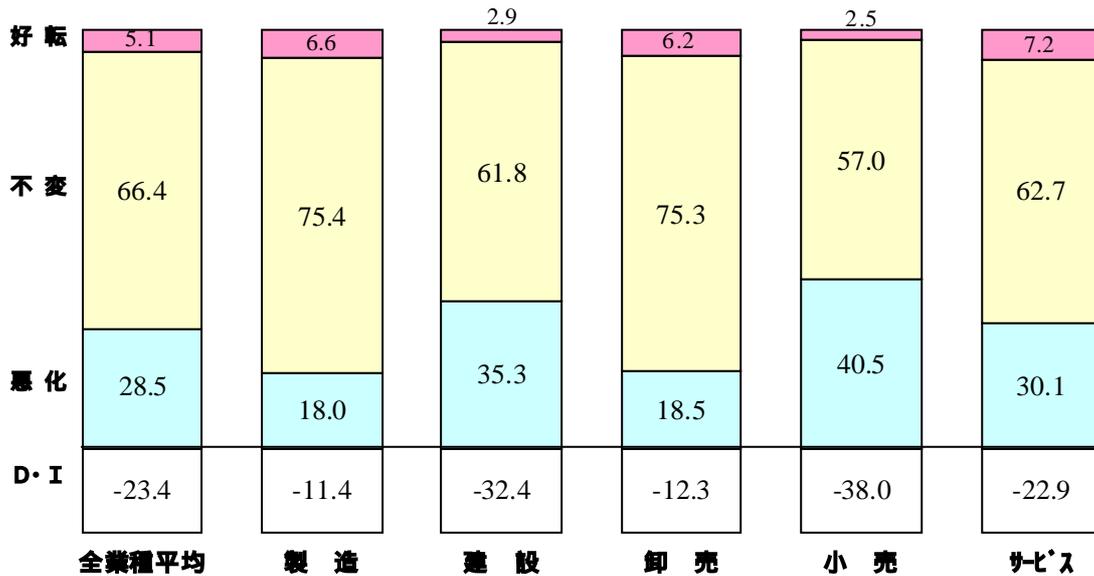
(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成21年4～6月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移（全業種平均D・I）
（好転 - 悪化）



今期の資金繰り（前年同期比）



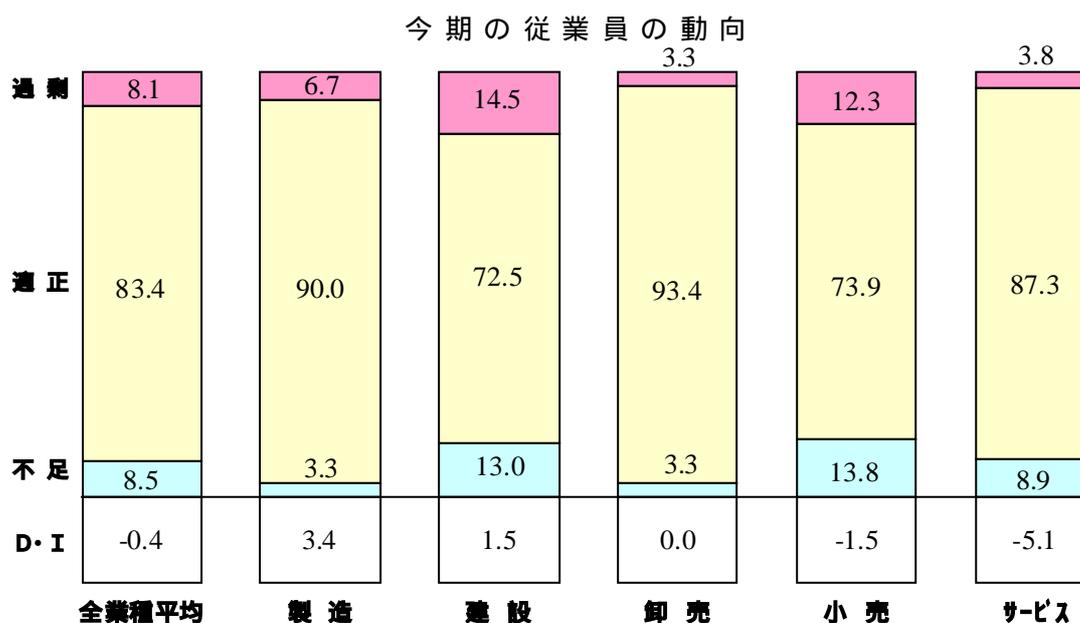
全業種平均でD・I値 **23.4**〔前回調査時（平成22年1～3月期 27.6）より4.2ポイントマイナス幅が縮小〕。前回調査時に比べ、D・Iはマイナス幅が縮小しているが、総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 24.6 11.4〕、建設〔前回 26.8 32.4〕
卸売〔前回 14.0 12.3〕、小売〔前回 36.9 38.0〕
サービス〔前回 35.6 22.9〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「需要の停滞」	(38.6%) [前回 44.0%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(14.8%) [前回 16.9%]
	「原材料価格の上昇」	(11.1%) [前回 6.8%]
建設業	「官公需要の停滞」	(33.5%) [前回 32.3%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(27.3%) [前回 20.3%]
	「民間需要の停滞」	(16.7%) [前回 26.1%]
卸売業	「需要の停滞」	(57.6%) [前回 66.0%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(8.8%) [前回 10.2%]
	「代金回収の悪化」	(7.0%) [前回 3.4%]
小売業	「需要の停滞」	(34.7%) [前回 30.2%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(14.7%) [前回 16.2%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(10.7%) [前回 13.8%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(10.7%) [前回 10.0%]
サービス業	「需要の停滞」	(36.1%) [前回 49.8%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(11.5%) [前回 10.7%]
	「大企業進出による競争の激化」	(11.5%) [前回 8.3%]

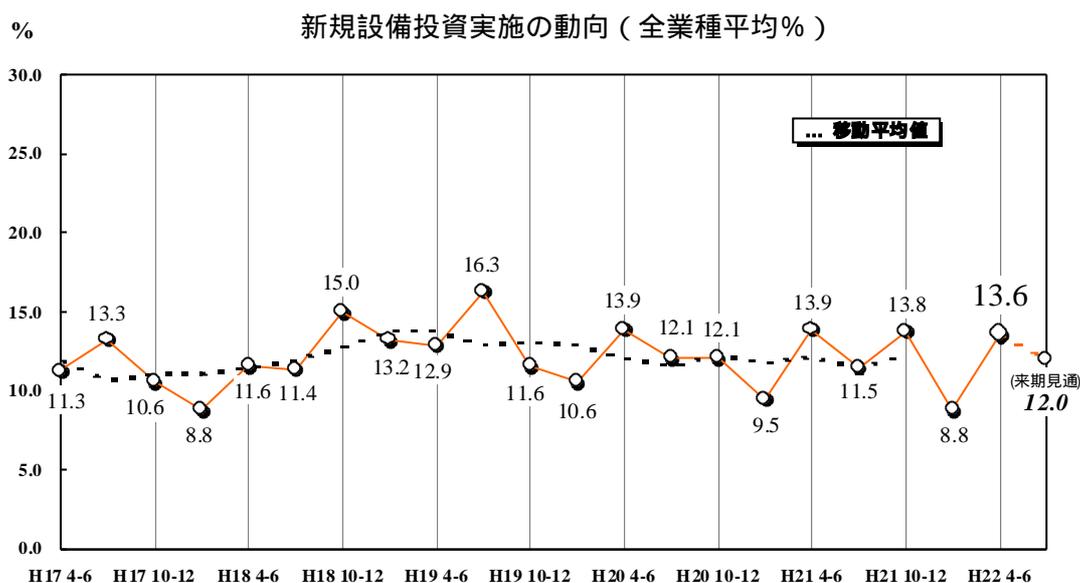
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 0.4〔前回調査時（平成22年1～3月期1.7）〕と、前回調査時に比べ「不足」と回答する企業が増加しているが、依然「適正」（83.4%）とする企業が大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 6.5 3.4〕（適正90.0%）
 建設〔前回 4.2 1.5〕（適正72.5%）
 卸売〔前回 1.6 0.0〕（適正93.4%）
 小売〔前回 2.6 1.5〕（適正73.9%）
 サービス〔前回 5.0 5.1〕（適正87.3%）

(7) 今期の新規設備投資



(単位%)

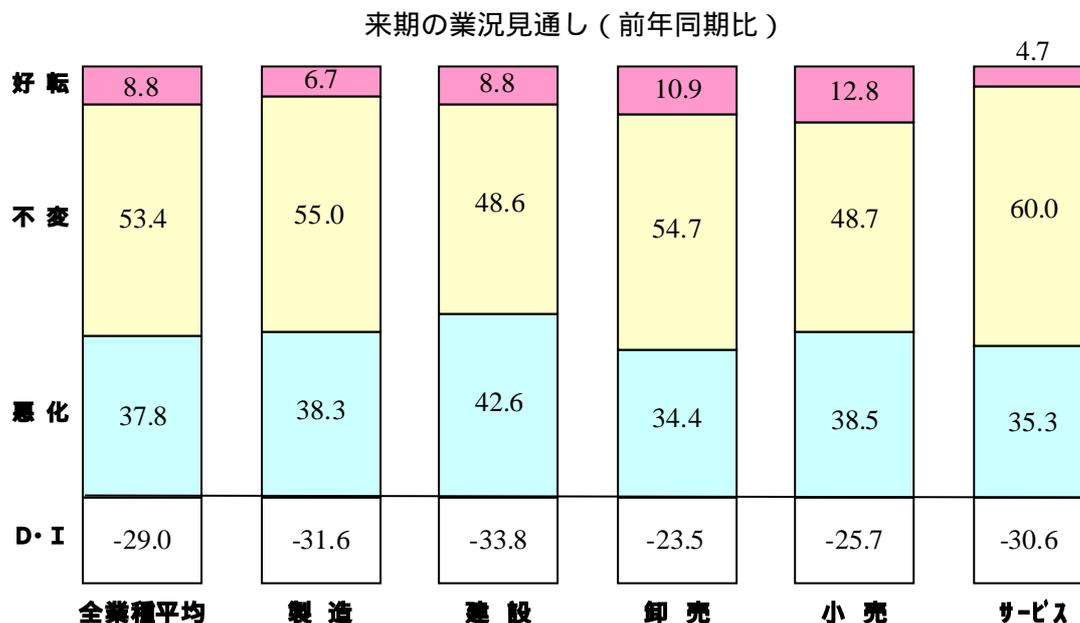
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	16.4	10.0	15.4	11.4	14.9	13.6
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
工場建物、建物、店舗	10.0	0.0	20.0	55.6	15.4	20.2
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	28.6	0.0	11.1	30.8	24.1
車両運搬具	0.0	14.3	40.0	44.4	15.4	22.8
倉庫・駐車場等の付帯施設	20.0	28.6	10.0	22.2	23.1	20.8
OA機器	20.0	57.1	20.0	22.2	61.5	36.2
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	6.0
実施していない	83.6	90.0	84.6	88.6	85.1	86.4

新たに設備投資を実施した企業は平均で13.6%〔前回調査時（平成22年1～3月期8.8%）〕、業種別では製造〔前回12.7% 16.4%〕、建設〔前回11.1% 10.0%〕、卸売〔前回6.2% 15.4%〕、小売〔前回6.1% 11.4%〕、サービス〔前回7.9% 14.9%〕と、製造業、卸売業、小売業、サービス業について前回調査時の水準を上回った。

2. 来期の見通し

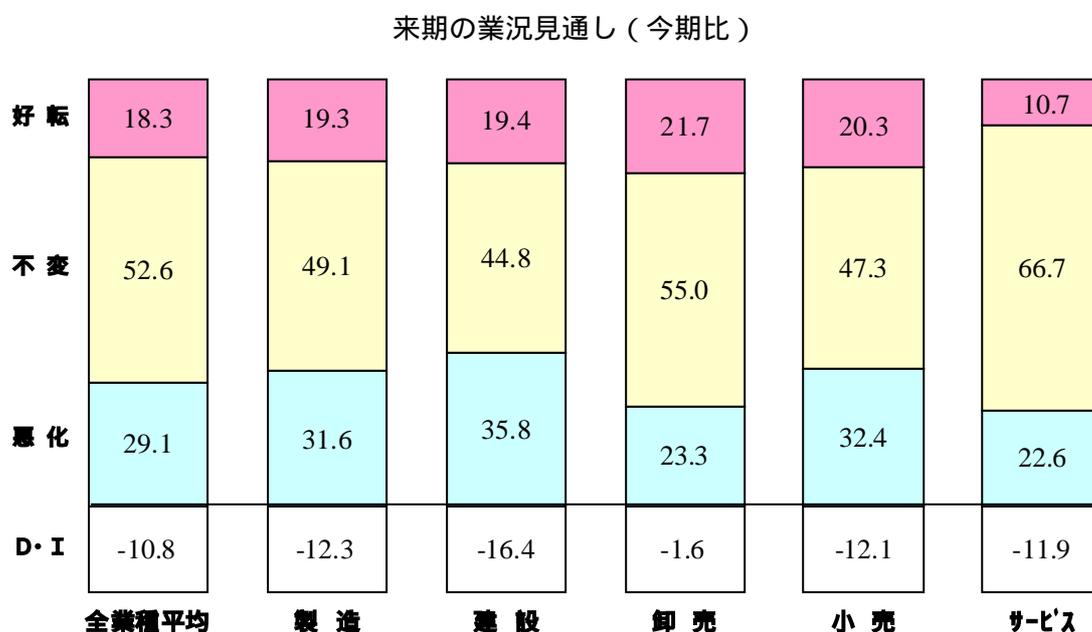
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成21年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **29.0**〔今期の業況（前年同期比 28.2）より0.8ポイントマイナス幅が拡大〕と、業況は依然低迷が続く。

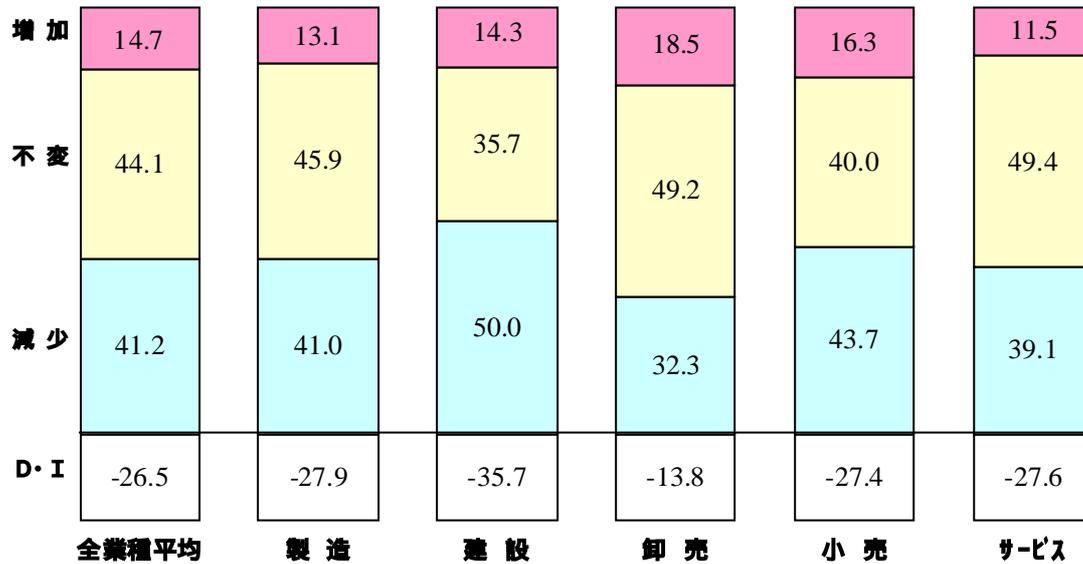
【今期比】（平成22年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成21年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

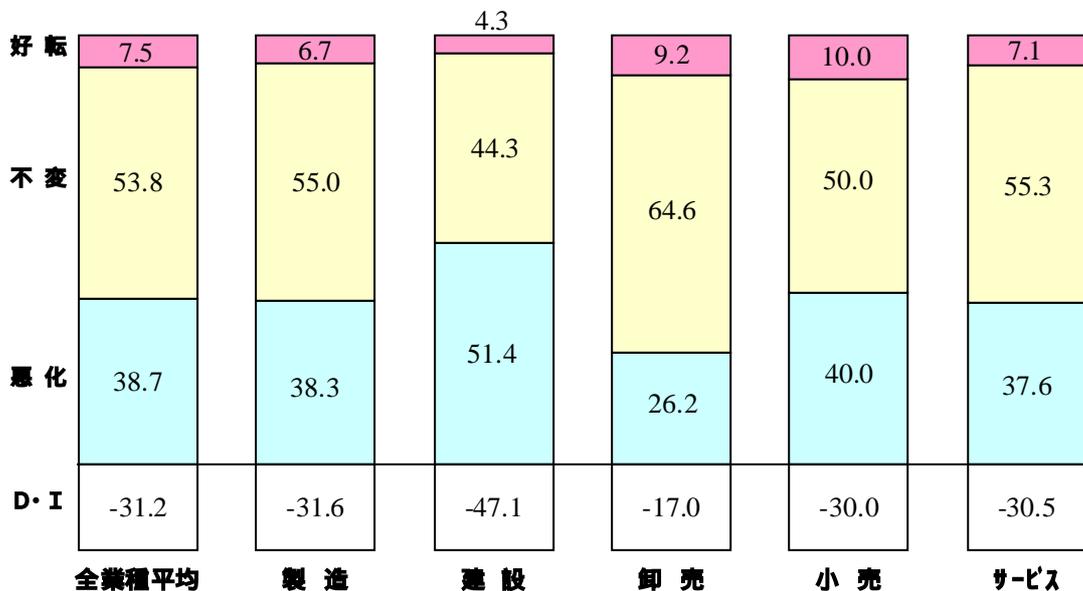


全業種平均でD・I値 **26.5**〔今期の売上高（前年同期比 32.9）より6.4ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成21年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **31.2**〔今期の採算（前年同期比 34.2）より3.0ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

(単位%)

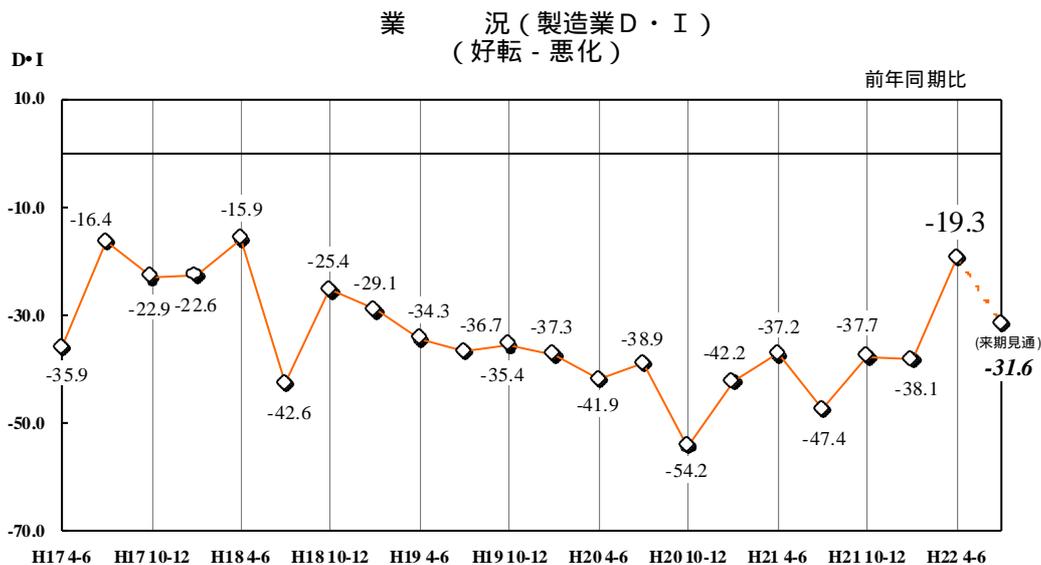
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	20.3	9.0	12.7	5.1	12.8	12.0
土地	8.3	16.7	12.5	0.0	9.1	9.3
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	0.0	25.0	18.2	8.6
生産・販売・サービス設備、建設機械	58.3	0.0	12.5	50.0	27.3	29.6
車両運搬具	25.0	33.3	37.5	50.0	9.1	31.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	16.7	16.7	12.5	25.0	27.3	19.6
OA機器	8.3	33.3	25.0	25.0	27.3	23.8
厚生施設	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
その他	0.0	16.7	37.5	25.0	9.1	17.7
実施しない	79.7	91.0	87.3	94.9	87.2	88.0

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**12.0%**となっており、今期(13.6%)を下回る見通し。

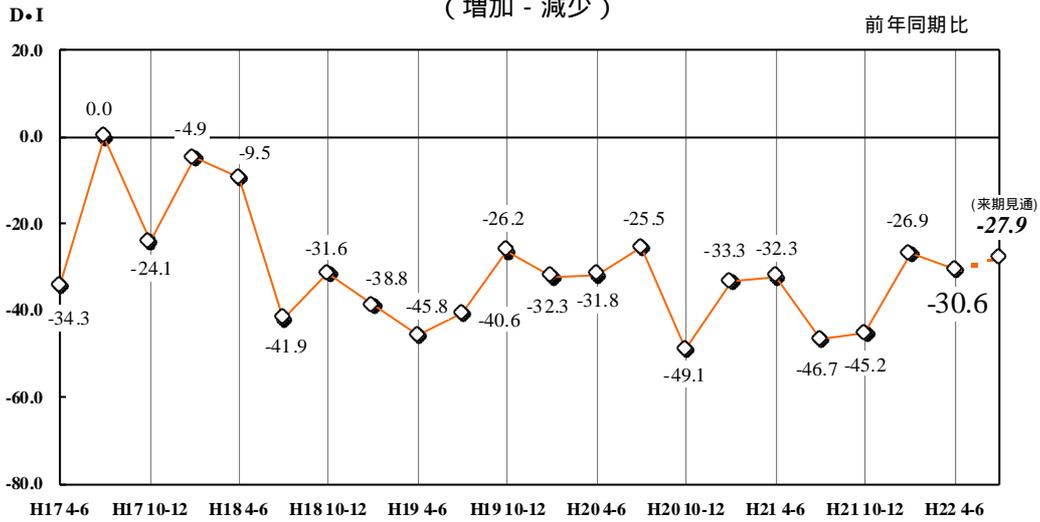
業種別では、製造〔今期15.9% 20.3%〕、建設〔今期4.3% 9.0%〕、卸売〔今期9.7% 12.7%〕、小売〔今期11.1% 5.1%〕、サービス〔今期5.7% 12.8%〕となっている。

業種別の動向

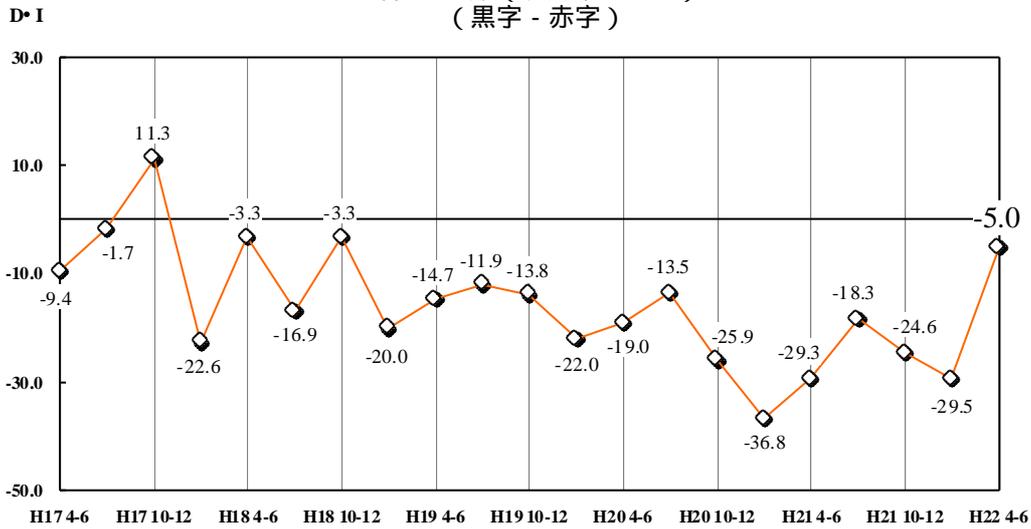
(1) 製造業



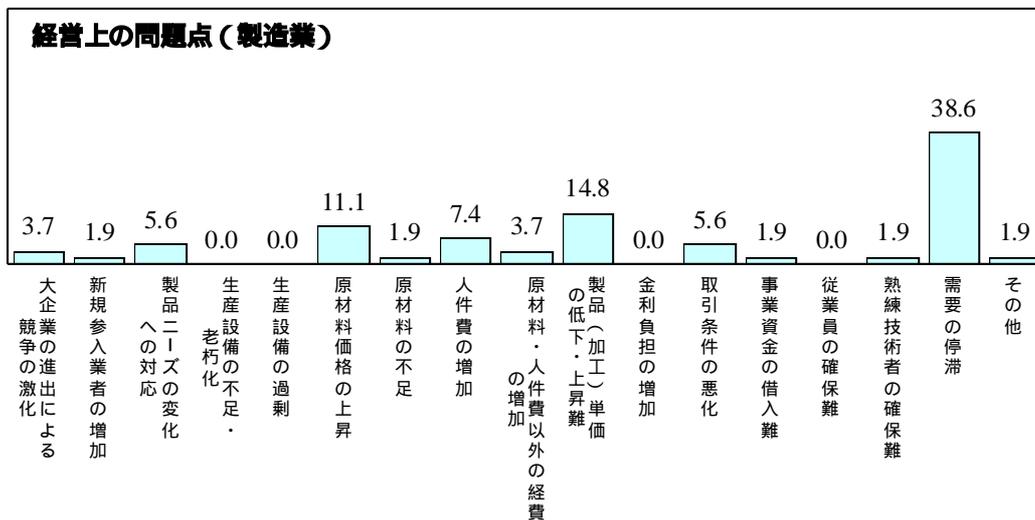
売上高（製造業D・I）
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）
（黒字 - 赤字）



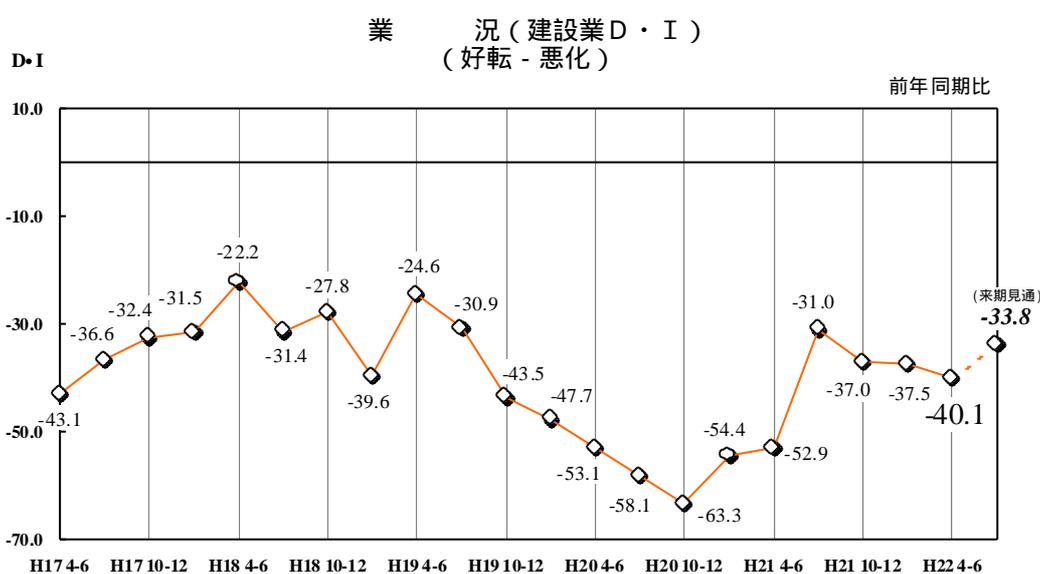
経営上の問題点



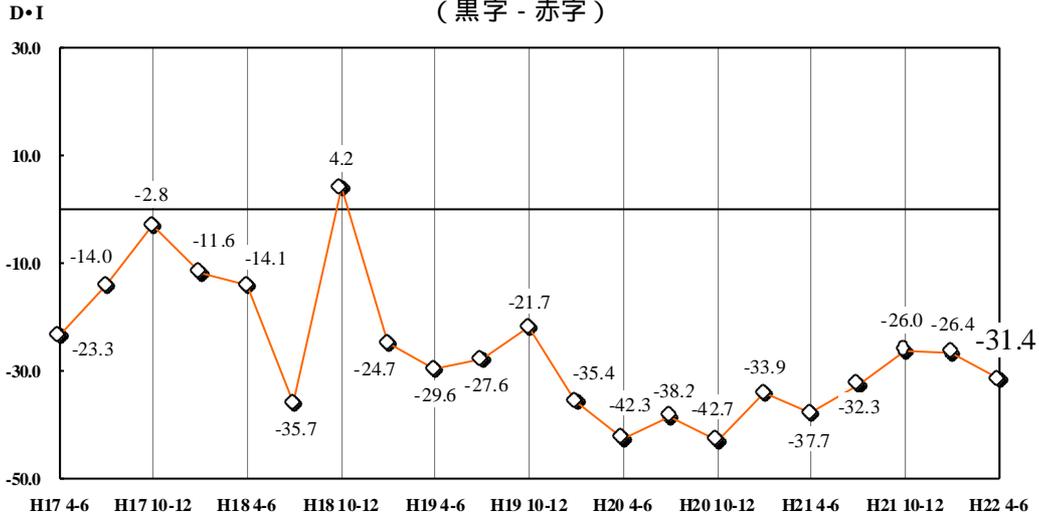
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	11.4	8.0	11.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	8.5	8.7 (今期比)
短期 〃	-----	2.2	0.0 (今期比)
設 備 操 業 率	12.5	-----	12.7 (前年同期比)

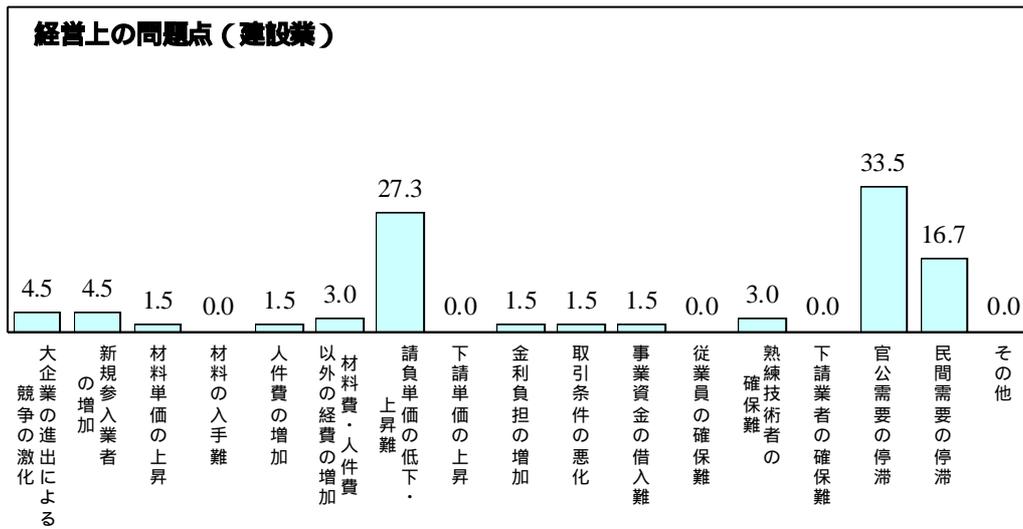
(2) 建 設 業



採 算 (建設業D・I)
(黒字 - 赤字)



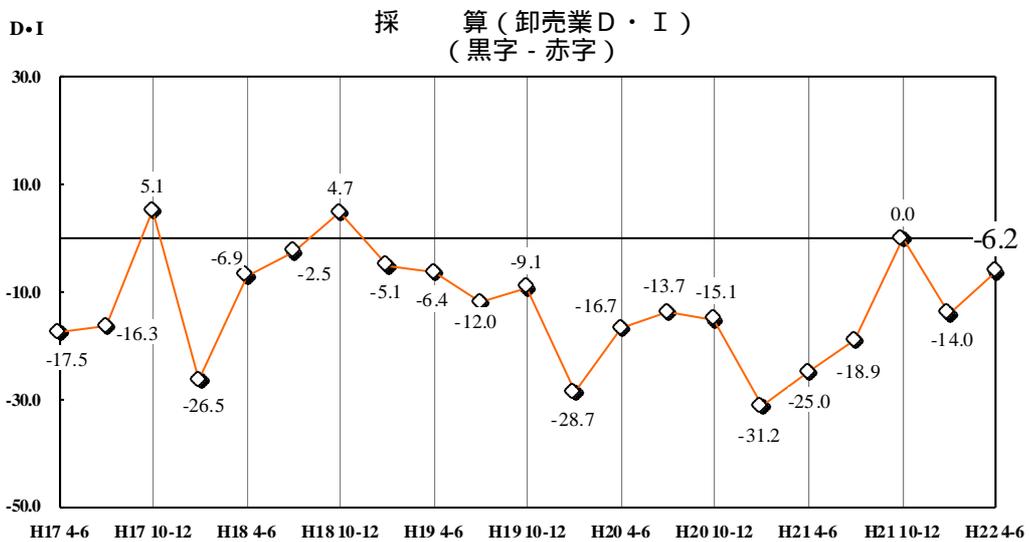
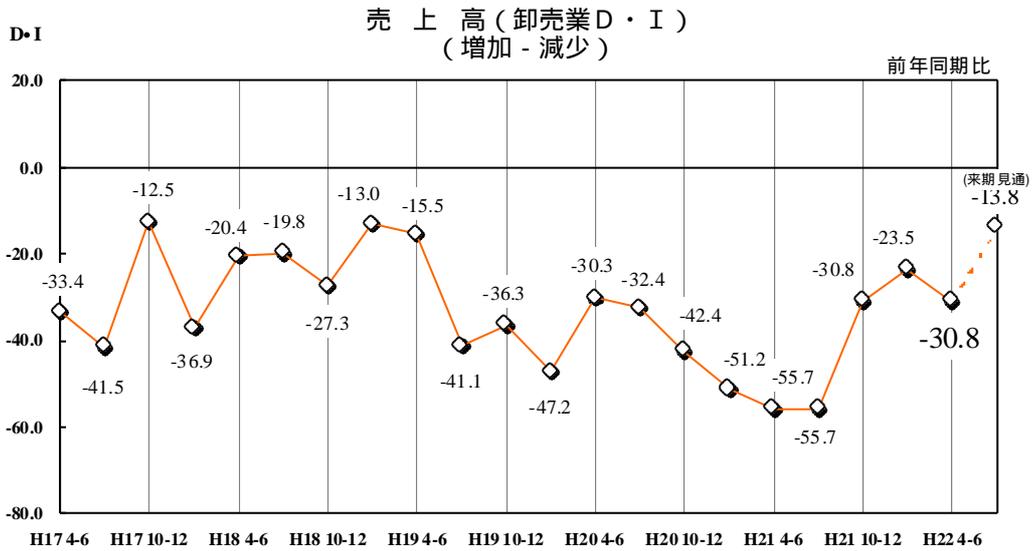
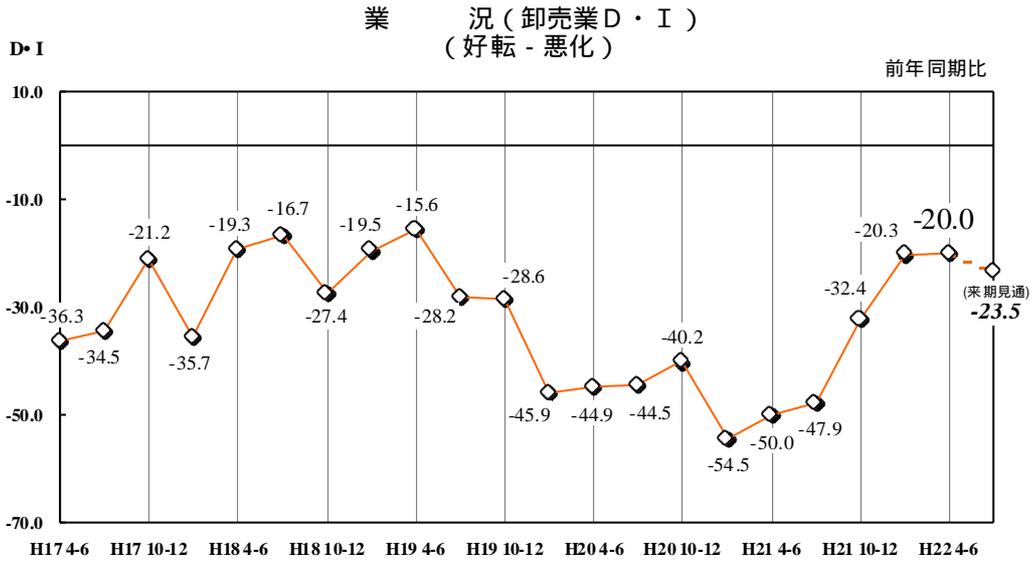
経営上の問題点



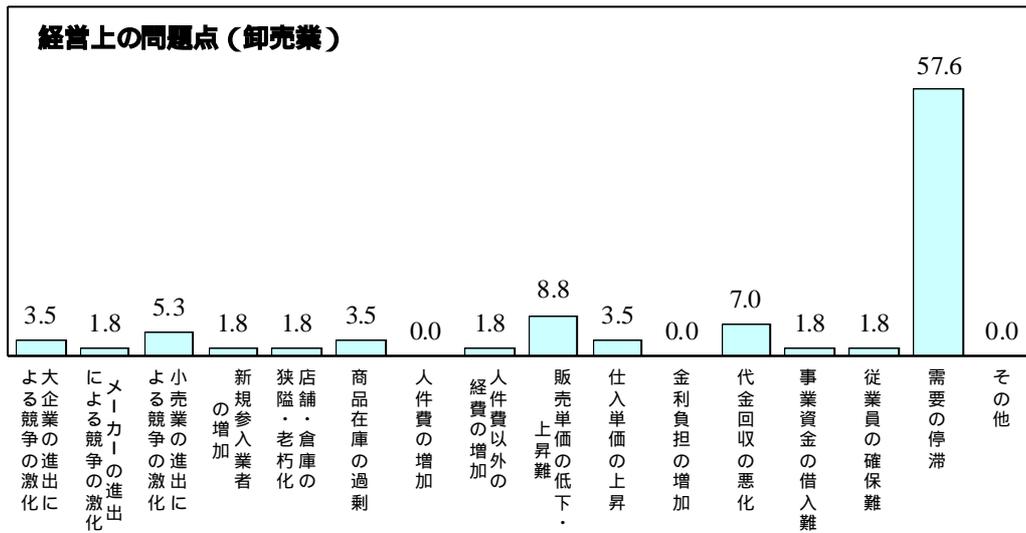
その他 (D-I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	32.4	27.9	27.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	16.9	23.4 (今期比)
短期 "	-----	9.8	16.6 (今期比)
受注(新規契約工事)額	49.4	-----	32.0 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



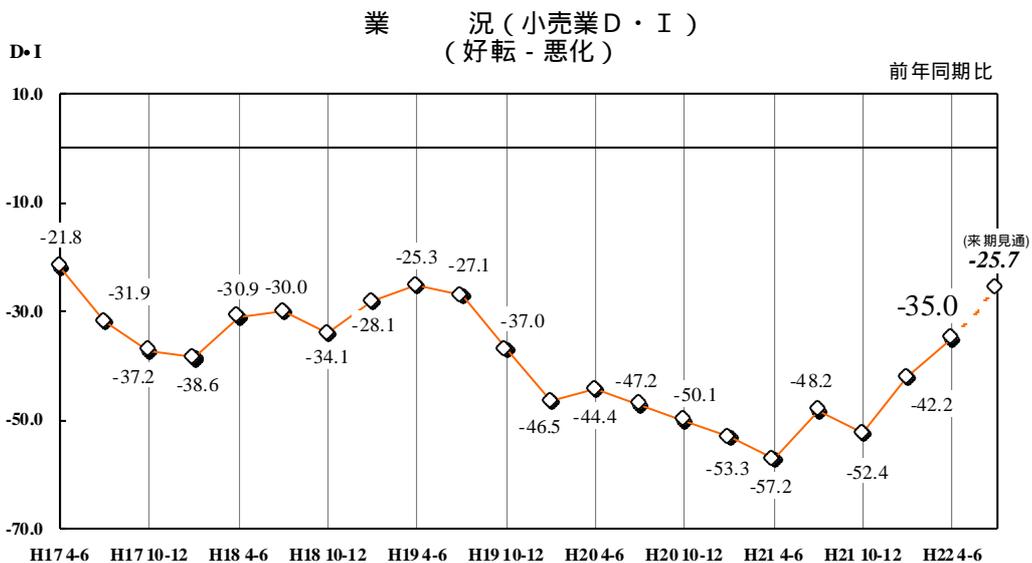
経営上の問題点

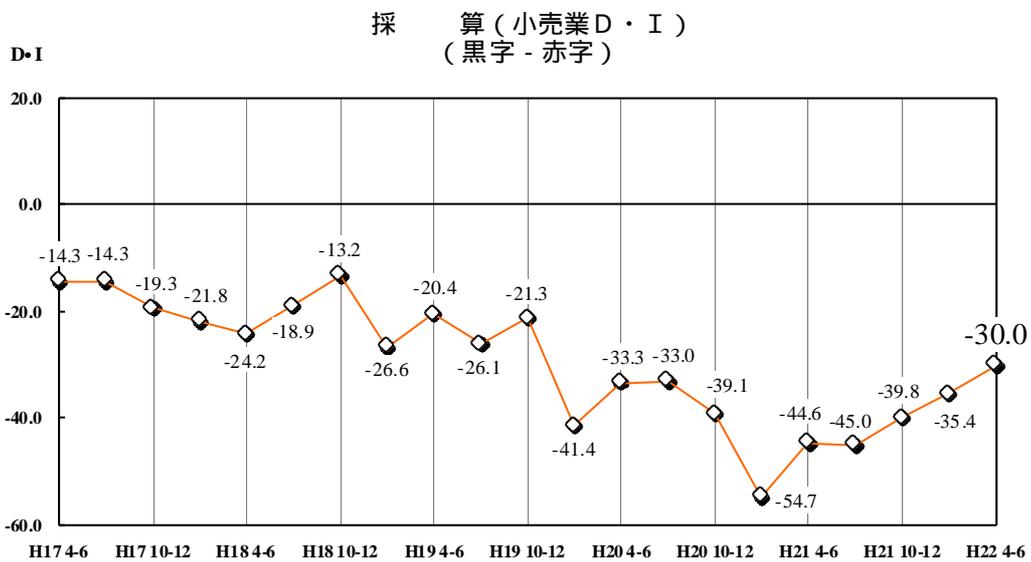
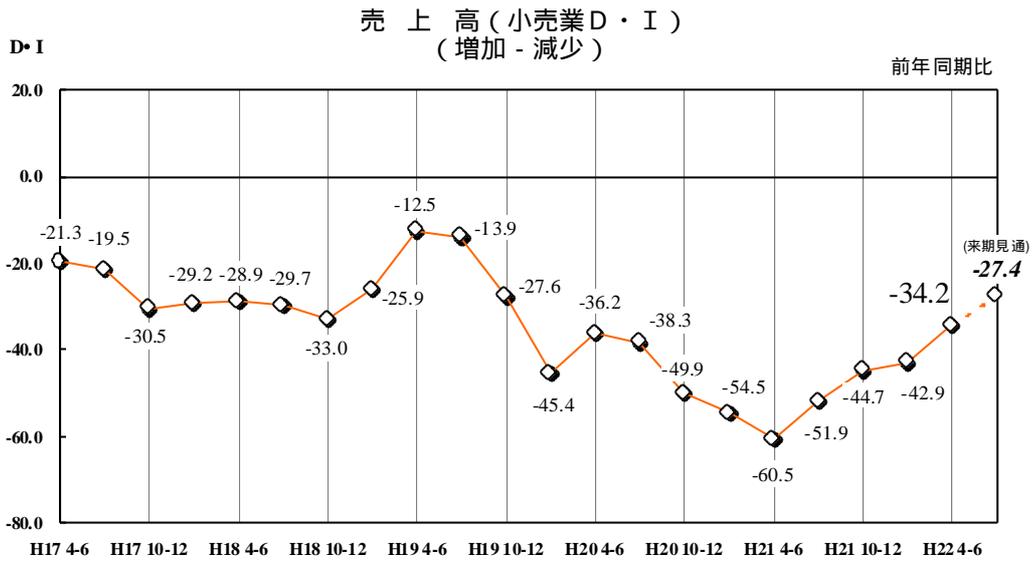


その他（D・I値）

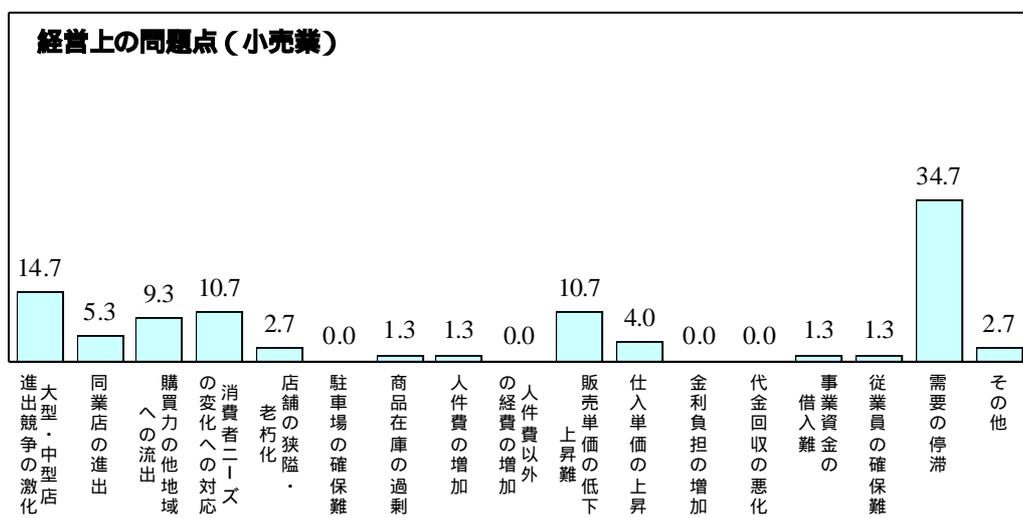
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	12.3	16.9	12.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	6.6	8.3 (今期比)
短期 "	-----	6.6	6.8 (今期比)
商品在庫数量	26.1	-----	13.9 (前年同期比)

(4) 小 売 業





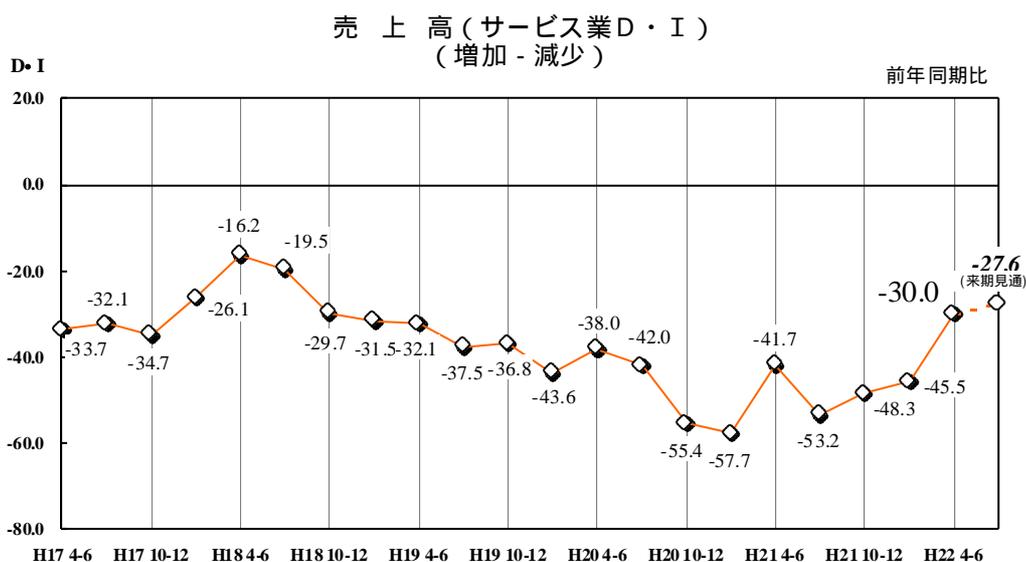
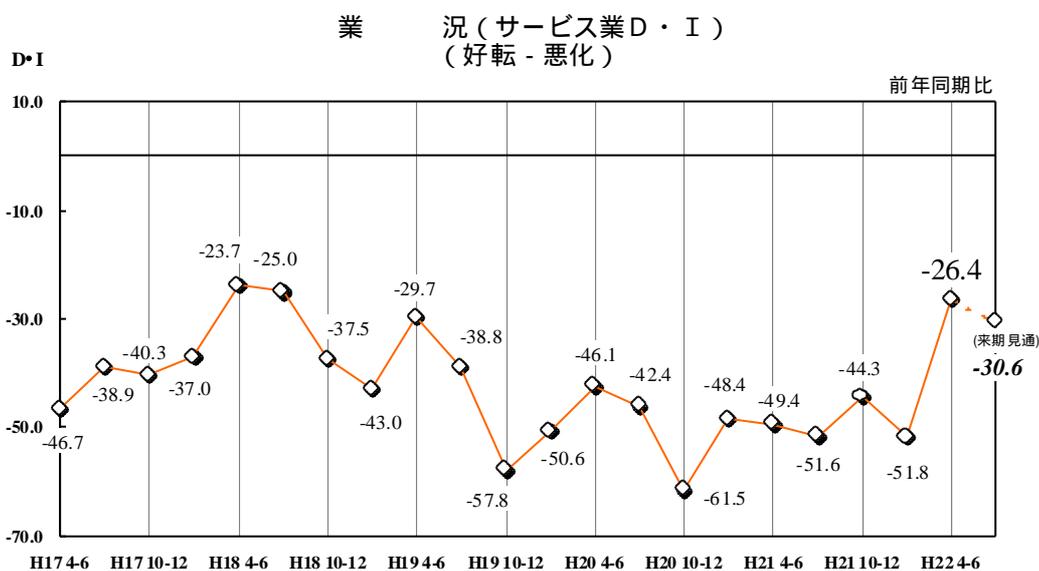
経営上の問題点

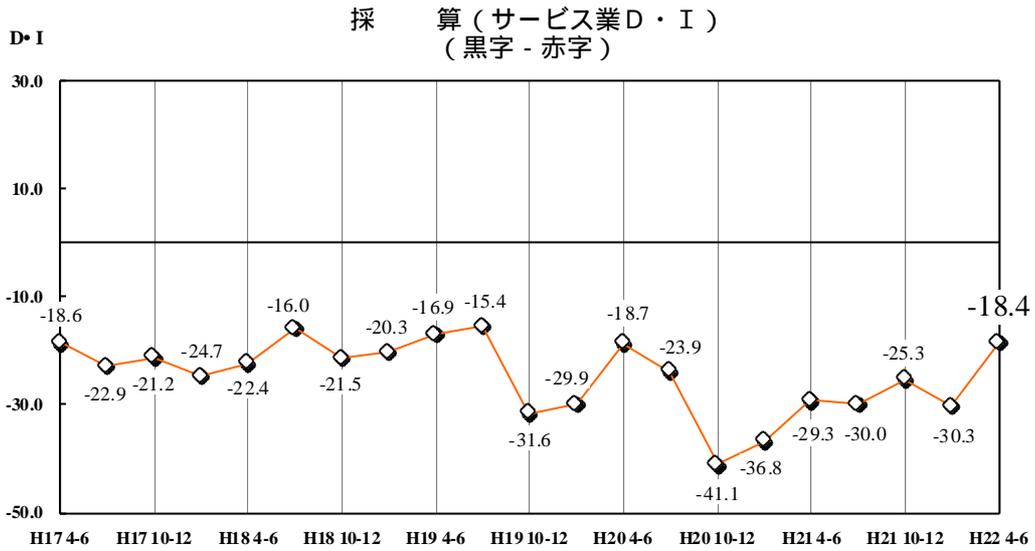


その他 (D・I値)

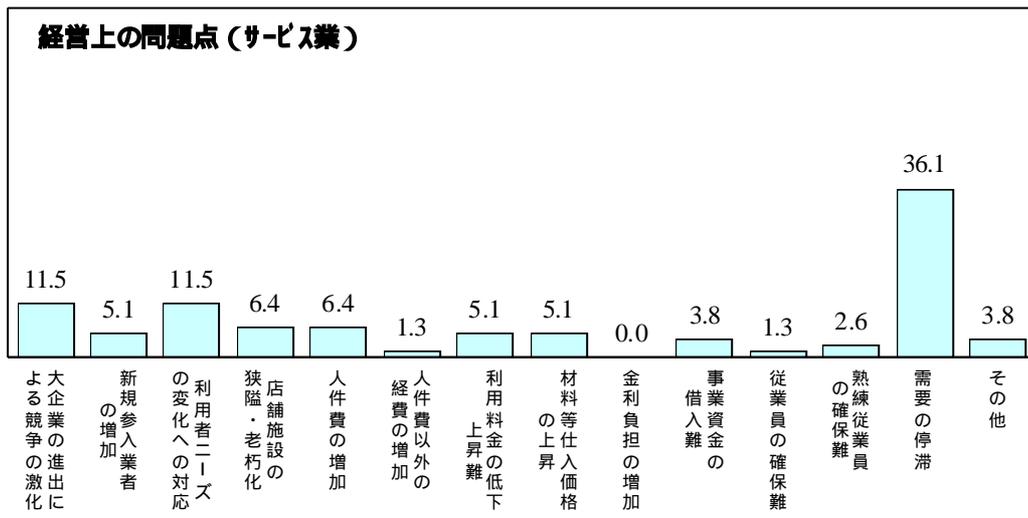
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	38.0	34.2	31.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	25.4	20.6 (今期比)
短期 〃	-----	12.9	16.1 (今期比)
商品在庫数量	25.3	-----	19.2 (前年同期比)

(5) サービス業





経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	22.9	13.3	26.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	24.4	21.8 (今期比)
短期 "	-----	17.4	16.0 (今期比)
利 用 客 数	32.2	13.1	22.6 (前年同期比)

2. 建設業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区分	今期(平成22年 4月～6月)の水準			
	今	期	前	D・I
業況(自社)	5.7	41.4	52.9	-47.2
採算(経常利益)	10.0	48.6	41.4	-31.4
引合	10.6	43.9	45.5	-34.9
従業員(含臨時・パート)	14.5	72.5	13.0	1.5

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成21年 4月～6月)に比べて				前期(平成21年 1月～3月)に比べて				前年同期(平成21年 4月～6月)と比べた 来期(平成22年 7月～9月)の見通し			
	↑	↓	↔	D・I	↑	↓	↔	D・I	↑	↓	↔	D・I
A 完成工事(請負工事)額	12.9	35.7	51.4	-38.5	22.9	27.1	50.0	-27.1	14.3	35.7	50.0	-35.7
B 資金繰り	2.9	61.8	35.3	-32.4	7.4	57.3	35.3	-27.9	5.9	60.3	33.8	-27.9
C 受注(新規契約工事)額	13.0	24.6	62.4	-49.4					15.9	36.2	47.9	-32.0
D 材料仕入単価	23.2	72.5	4.3	18.9					29.0	66.7	4.3	24.7
E 採算(経常利益)	4.3	35.7	60.0	-55.7					4.3	44.3	51.4	-47.1
F 従業員(含臨時・パート)	5.8	71.0	23.2	-17.4					4.3	79.8	15.9	-11.6
G 外部人材(請負・派遣)	15.3	64.4	20.3	-5.0					15.0	65.0	20.0	-5.0
H 引合	9.2	47.7	43.1	-33.9								
I 契約残(未消化工事高)	8.7	43.5	47.8	-39.1								
J 業況(自社)	7.1	45.7	47.2	-40.1	10.0	50.0	40.0	-30.0	8.8	48.6	42.6	-33.8
K 受取手形期間					2.1	95.8	2.1	0.0	19.4	44.8	35.8	-16.4
L 長期資金借入難度					4.6	73.9	21.5	-16.9	4.7	67.2	28.1	-23.4
M 短期資金借入難度(含手形割引)					6.6	77.0	16.4	-9.8	6.7	70.0	23.3	-16.6
N 借入金金利					7.9	88.9	3.2	4.7	9.7	88.7	1.6	8.1

↗ : 増加
 - : 不変(A, C, F, G, H, I)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(D, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(B, E, J)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 - : 不変(K)
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変(L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区分	実施・計画している	実施・計画している								実施・計画していない
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	10.0	0.0	0.0	28.6	14.3	28.6	57.1	0.0	0.0	90.0
来期	9.0	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	91.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	4.5	15.2
新規参入業者の増加	4.5	7.6
材料単価の上昇	1.5	15.2
材料の入手難	0.0	0.0
人件費の増加	1.5	1.5
材料費・人件費以外の経費の増加	3.0	10.6
請負単価の低下・上昇難	27.3	51.5
下請単価の上昇	0.0	6.1
金利負担の増加	1.5	1.5
取引条件の悪化	1.5	24.2
事業資金の借入難	1.5	16.7
従業員の確保難	0.0	0.0
熟練技術者の確保難	3.0	7.6
下請業者の確保難	0.0	1.5
官公需要の停滞	33.5	59.1
民間需要の停滞	16.7	59.1
その他	0.0	1.5

3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成22年 4月～ 6月)の水準			
	今	期	前	D・I
業 況(自 社)	14.3	36.5	49.2	-34.9
売 上 対 する 商 品 在 庫	18.8	73.4	7.8	11.0
採 算(経常利益)	17.2	59.4	23.4	-6.2
引 合	7.9	54.0	38.1	-30.2
従 業 員(含臨時・パート)	3.3	93.4	3.3	0.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成21年 4月～ 6月)に比べて				前期(平成21年 1月～ 3月)に比べて				前年同期(平成21年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成22年 7月～ 9月)の見通し			
	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I
A 売 上 額	20.0	29.2	50.8	-30.8	35.4	29.2	35.4	0.0	18.5	49.2	32.3	-13.8
B 売 上 単 価	13.8	53.9	32.3	-18.5	13.8	63.1	23.1	-9.3	15.4	64.6	20.0	-4.6
C 資 金 繰 り	6.2	75.3	18.5	-12.3	4.6	73.9	21.5	-16.9	4.6	78.5	16.9	-12.3
D 商 品 仕 入 単 価	27.7	56.9	15.4	12.3					29.2	64.6	6.2	23.0
E 商 品 仕 入 数 量	15.6	42.2	42.2	-26.6					18.8	51.5	29.7	-10.9
F 商 品 在 庫 数 量	6.2	61.5	32.3	-26.1					9.2	67.7	23.1	-13.9
G 採 算(経常利益)	12.3	49.2	38.5	-26.2					9.2	64.6	26.2	-17.0
H 従 業 員(含臨時・パート)	6.3	82.6	11.1	-4.8					9.5	84.2	6.3	3.2
I 外 部 人 材(請負・派遣)	2.2	86.9	10.9	-8.7					2.1	91.5	6.4	-4.3
J 引 合	14.3	50.8	34.9	-20.6								
K 業 況(自 社)	13.8	52.4	33.8	-20.0	18.5	44.6	36.9	-18.4	10.9	54.7	34.4	-23.5
	前年同期(平成21年 4月～ 6月)に比べて				前期(平成21年 1月～ 3月)に比べて				今 期(平成22年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成22年 7月～ 9月)の見通し			
L 受 取 手 形 期 間					1.9	98.1	0.0	1.9	0.0	100.0	0.0	0.0
M 長 期 資 金 借 入 難 度					8.2	77.0	14.8	-6.6	6.7	78.3	15.0	-8.3
N 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					6.7	80.0	13.3	-6.6	6.8	79.6	13.6	-6.8
O 借 入 金 利					4.9	83.6	11.5	-6.6	4.9	86.9	8.2	-3.3

↗ : 増加
 - : 不変(A, E, F, H, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(B, D, O)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(C, G, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変(L)
 ↘ : 困難(M, N)

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	倉 庫	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	15.4	0.0	20.0	0.0	40.0	10.0	20.0	0.0	10.0	84.6
来 期	12.7	12.5	0.0	12.5	37.5	12.5	25.0	0.0	37.5	87.4

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	3.5	12.3
メーカーの進出による競争の激化	1.8	8.8
小売業の進出による競争の激化	5.3	10.5
新規参入業者の増加	1.8	1.8
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	1.8	5.3
商品在庫の過剰	3.5	7.0
人件費の増加	0.0	3.5
人件費以外の経費の増加	1.8	10.5
販売単価の低下・上昇難	8.8	43.9
仕入単価の上昇	3.5	19.3
金利負担の増加	0.0	1.8
代金回収の悪化	7.0	17.5
事業資金の借入難	1.8	8.8
従業員の確保難	1.8	7.0
需要の停滞	57.6	82.5
そ の 他	0.0	3.5

4.小 売 業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成22年 4月～6月)の水準			
	↗	↘	↔	D・I
業 況 (自 社)	8.8	30.0	61.2	-52.4
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	19.0	69.6	11.4	7.6
採 算 (経 常 利 益)	10.0	50.0	40.0	-30.0
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	12.3	73.9	13.8	-1.5

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成21年 4月～6月)に比べて				前期(平成21年 1月～3月)に比べて				前年同期(平成21年 4月～6月)と比べた 来 期(平成22年 7月～9月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売 上 額	15.2	35.4	49.4	-34.2	25.0	36.0	40.0	-15.0	16.3	40.0	43.7	-27.4
B 客 単 価	6.3	47.4	46.3	-40.0	10.0	52.5	37.5	-27.5	6.3	57.4	36.3	-30.0
C 客 数	13.8	35.0	51.2	-37.4	23.8	36.0	41.2	-17.4	15.0	42.5	42.5	-27.5
D 資 金 繰 り	2.5	57.0	40.5	-39.0	3.8	58.2	38.0	-34.2	3.8	60.8	35.4	-31.6
E 商 品 仕 入 単 価	17.5	63.7	18.8	-1.3					15.0	71.2	13.8	-1.2
F 商 品 仕 入 額	21.3	37.5	41.2	-19.9					17.5	51.2	31.3	-13.8
G 商 品 在 庫 数 量	10.1	54.5	35.4	-25.3					9.0	62.8	28.2	-19.2
H 採 算 (経 常 利 益)	8.8	42.5	48.7	-39.9					10.0	50.0	40.0	-30.0
I 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	4.4	82.4	13.2	-8.8					10.3	80.9	8.8	1.5
J 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	4.5	88.7	6.8	-2.3					4.5	91.0	4.5	0.0
K 業 況 (自 社)	10.0	45.0	45.0	-36.0	16.5	41.7	41.8	-25.3	12.8	48.7	38.5	-25.7
L 長 期 資 金 借 入 難 度					3.0	66.6	28.4	-25.4	2.9	73.6	23.5	-20.6
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					3.2	80.7	16.1	-12.9	1.6	80.7	17.7	-16.1
N 借 入 金 利					5.9	86.7	7.4	-1.5	5.9	89.7	4.4	1.5

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, F, G, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, H, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	11.4	0.0	55.6	11.1	44.4	22.2	22.2	0.0	0.0	88.6
来 期	5.1	0.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	94.9

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大・中型店の進出による競争の激化	14.7	29.3
同業者の進出	5.3	8.0
購買力の他地域への流出	9.3	24.0
消費者ニーズの変化への対応	10.7	32.0
店舗の狭隘・老朽化	2.7	8.0
駐車場の確保難	0.0	5.3
商品在庫の過剰	1.3	6.7
人件費の増加	1.3	6.7
人件費以外の経費の増加	0.0	5.3
販売単価の低下・上昇難	10.7	40.0
仕入単価の上昇	4.0	10.7
金利負担の増加	0.0	1.3
代金回収の悪化	0.0	1.3
事業資金の借入難	1.3	14.7
従業員の確保難	1.3	2.7
需要の停滞	34.7	58.7
その他	2.7	6.7

5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成22年 4月～6月)の水準				D・I
	今	期	前	期	
業 況(自 社)	4.6	44.8	50.6	-46.0	
採 算(経常利益)	13.8	54.0	32.2	-18.4	
従 業 員(含臨時・パート)	3.8	87.3	8.9	-5.1	

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成21年 4月～6月)に比べて				前期(平成21年 1月～3月)に比べて				前年同期(平成21年 4月～6月)と比べた 来 期(平成22年 7月～9月)の見通し			
	前	年	同	期	前	期	前	期	前	年	同	期
A 売 上 (収 入) 額	14.9	40.2	44.9	-30.0	24.1	41.4	34.5	-10.4	11.5	49.4	39.1	-27.6
B 客 単 価	3.6	65.4	31.0	-27.4	4.8	70.2	25.0	-20.2	2.4	63.1	34.5	-32.1
C 利 用 客 数	9.5	48.8	41.7	-32.2	17.9	51.1	31.0	-13.1	11.9	53.6	34.5	-22.6
D 資 金 繰 り	7.2	62.7	30.1	-22.9	10.8	65.1	24.1	-13.3	3.6	66.3	30.1	-26.5
E 仕 入 単 価 (材 料 等)	27.8	68.4	3.8	24.0					22.5	72.5	5.0	17.5
F 採 算 (経 常 利 益)	8.2	54.2	37.6	-29.4					7.1	55.3	37.6	-30.5
G 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	6.4	73.1	20.5	-14.1					1.3	80.5	18.2	-16.9
H 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	7.3	83.6	9.1	-1.8					5.5	89.0	5.5	0.0
I 業 況 (自 社)	11.5	50.6	37.9	-26.4	11.9	58.3	29.8	-17.9	4.7	60.0	35.3	-30.6
L 長 期 資 金 借 入 難 度					3.8	68.0	28.2	-24.4	3.8	70.6	25.6	-21.8
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					4.3	74.0	21.7	-17.4	4.3	75.4	20.3	-16.0
N 借 入 金 利					3.9	88.2	7.9	-4.0	2.6	90.8	6.6	-4.0

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, G, H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, F, I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	建 物	サービ 設備	車両・運搬具	付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	14.9	0.0	15.4	30.8	15.4	23.1	61.5	0.0	0.0	85.1
来 期	12.8	9.1	18.2	27.3	9.1	27.3	27.3	0.0	9.1	87.2

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3 位
大企業の進出による競争の激化	11.5	19.2
新規参入業者の増加	5.1	16.7
利用者ニーズの変化への対応	11.5	39.7
店舗施設の狭隘・老朽化	6.4	14.1
人件費の増加	6.4	12.8
人件費以外の経費の増加	1.3	20.5
利用料金の低下・上昇難	5.1	24.4
材料等仕入単価の上昇	5.1	15.4
金利負担の増加	0.0	1.3
事業資金の借入難	3.8	16.7
従業員確保難	1.3	6.4
熟練従業員確保難	2.6	12.8
需要の停滞	36.1	57.7
その他	3.8	3.8